

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



お薬に「命」を吹き込む薬師如来たち

【特集】

肝臓週間に第102回特別講演
(田中靖人教授) が開催されました

- VOICE
- 医学シリーズ 感染症内科
- 研修医レポート
- 研修日程表
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター
地域医療連携室室長
菊川 浩明



096-353-6565
096-353-6566

受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

FAX 096-353-6563

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター
National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター 検索 ホームページ QR コード

肝臓週間に第 102 回特別講演 (田中靖人教授) が開催されました

2020年7月30日「ステロイドを含む免疫抑制剤によるB型肝炎再活性化の現状と対策」と題して熊本大学大学院生命科学研究部消化器内科学 田中靖人教授による特別講演が行われました。4月より新型コロナウイルス流行により講演会が中止されていましたが、久しぶりの講演会で会場は密にならない程度の院内外86名の参加者で埋め尽くされました。折しも7月27日から始まった肝臓週間の最中でした。

前半はB型肝炎の実態に関して概説されました。世界的にB型肝炎感染が増加していて、2.5億人の感染者数で年間50万人が死亡しているそうです。増加率はマラリアをはじめ結核やHIV/AIDSを上回っています。日本においては急性肝炎では性行為による感染の増加、特に欧米株(genotype A)および慢性化例が増加しており、予防および治療介入が必要なこととお話しになりました。特に、これまで母子感染が持続感染の多くを占めていましたが、水平感染、とくに父子感染や家族内感染例を提示され、最近の研究で血液以外の唾液や尿などの体液にもウイルスが検出されることがわかり、小児期の集団感染予防の重要性を示されました。日本では2016年より1歳未満の小児におけるユニバーサルワクチン接種が導入されています。

後半はB型肝炎再活性化に関して、ガイドラインの検証と各種抗がん剤や免疫抑制剤によるリスク分類、さらにはステロイド療法に関して、多施設研究と自験例をもとにお話されました。前任地の名古屋市立大学では薬剤部を中心に肝臓専門医、医療情報部、化学療法部および中央臨床検査部をワンチームとして再活性化対策に取り組み、そこで開発した

電子カルテを活用したアラート・オーダリングシステムの有用性を示されました。当院でも組織横断的な肝炎対策チーム構想を進めており、さらに10月に電子カルテレベルアップを控えています。ぜひ参考にさせていただきたいと思います。

最後に近年広く使われ始めた免疫チェックポイント阻害剤によるB型肝炎急性増悪症例を提示されました。この種の薬剤により活性化した細胞傷害性Tリンパ球が悪性腫瘍のみならず感染肝細胞を攻撃する可能性があるとのことで、今後は十分注意して治療にあたる必要があります。

会場からはいくつかの臨床現場からの質問があり、丁寧に解説していただきました。最初から最後まで分かり易く配慮され、参加者にとっては大変有意義であったと思われます。

診療部長・消化器内科部長

すぎ かずひろ
杉 和洋





こくぶ内科・
胃腸内科

たなか ともふみ
院長 田中 朋史



◆貴院のアピールをお願いします

当クリニックは、2019年10月7日 中央区国府にオープンしました。

地域の方々が気軽に相談できるような、かかりつけ医としての役割と、17年間 年間約3000件の内視鏡検査を行ってきた経験を活かした専門医としての機能もあわせもつクリニックです。また西洋医学的診療では解決しない場合でも、東洋医学を用いたアプローチで患者様の満足に添えていくことを目指しています。

◆先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

走ることが趣味です。最近は時間がとれず空いた時間を利用して走る程度ですが、以前は通勤を利用し遠回りして毎日20km、月間400km以上走行していました。全国で開催されるマラソン大会に出場するのが楽しみで、今までに東京、大阪、京都、福岡、熊本城、天草マラソンなど参加しました。特に東京マラソンは都庁、皇居、銀座、東京タワー、スカイツリー、浅草などを巡り、走っていてとても楽しく、もう一度参加してみたいと思う大会の一つです。



◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

以前勤務していたクリニックの頃から、様々なケースの患者様の紹介を快く引き受けて頂きとても感謝しています。また紹介後の治療経過の報告もとても早く、その後の患者様との診療も円滑にすすめていくことが出来て助かっています。今後ともよろしくお願い致します。

【診療科目】

内科、内視鏡内科、胃腸内科、漢方内科

【診療時間】

月・火・水・木・金・土 午前 9:00～13:00
月・火・水・金 午後 14:30～18:00

【休診日】

木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

【住所】

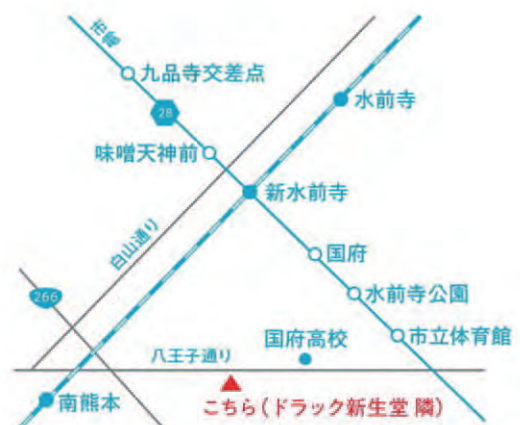
〒862-0948 熊本県熊本市中央区国府本町8番5号

【TEL】

096-375-7100

【FAX】

096-375-7102



熊本市中央区国府本町 8-5



No. 264

医学シリーズ

感染症内科 (No.1)

最近のトピックス

新型コロナウイルス
感染症 (COVID-19) について国立病院機構熊本医療センター
感染症内科部長おの ひろし
小野 宏

2019年の12月に中華人民共和国武漢市で初めて報告された新型コロナウイルスによる肺炎で、今も世界的な広がりを見せています。WHOは、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (PHEIC)」と位置付けました。日本でも指定感染症として厚生労働省・国立感染症研究所のリーダーシップのもとで様々な対応策が講じられ、一時は国内で爆発的に患者さまが増えるオーバーシュートに至りましたが、3密回避、不要不急の外出自粛政策やクラスター追跡なども有効に機能し、2020年5月25日に緊急事態制限解除となりました。その後、緩和策がなされる中で残念ながら都市部を中心に全国で再び患者数が増加する傾向にありますが、第1波に比べて医療資源の充実化や、国民の予防に対する意識向上もあり、幸い他国のようなオーバーシュートには至っていません。また、重症例も少ない傾向にありますが、若者の患者さまが多い背景もあり、引き続き今後の感染動向に注意が必要です。

感染経路は患者さまの咳やくしゃみによる飛沫(ひまつ：ウイルス等が水分を纏ったもの)感染が中心です。しかし、こうした飛沫が付着した物質表面に触れて感染する接触感染や、特に医療現場におけるエアロゾル(飛沫の水分が減ったもの：飛沫核)を介した空気感染の可能性も指摘されています。(このウイルスの環境中における生存期間は豆知識を参照)

中国の4万人以上の患者さまにおける大規模調査では、5-6日(1-14日)の潜伏期間(ウイルスに曝露してから発症するまでの期間)を経て、主に発熱

や咳、倦怠感(だるさ)や呼吸困難感、その他、鼻汁・鼻閉や消化器症状といった非特異的な症状を認めました。遺伝子学的に確定した患者さま像は平均59歳、その80%以上は無症状か、あっても症状は軽く改善していました。残りの15%で重症な肺炎などを認め、5%は集中治療が必要な重篤な状態でした。死亡率は全体で概ね2~3%ですが、50歳以上で年齢と共に上昇する傾向にあり、心血管疾患・COPDなどの慢性呼吸器疾患・糖尿病などの既往症をもつ場合に重症化しやすいことが解りました。最近では性別(男性)、血液型(A型)、喫煙、肥満(BMI \geq 30)や人種差での重症化リスクも報告されています。

医師がこの感染症を臨床像や各種検査所見から疑う場合、まずは保健所の新型コロナウイルス感染症対策課(熊本市保健所)と協議して行政検査を開始します。具体的には鼻腔の拭い液と喀痰を採取し、主にPCR法で診断します。この検査は保健所や県の研究所で行われ、結果が出るまでに数時間を要します。院内や民間検査会社などでも検査可能で、保険診療として行えますが、検査キットが少なく未だ簡単に検査が行える状況にはありません。一方でウイルス抗原をイムノクロマト法で検出する抗原検出キットが登場し、数十分で診断されるなど、その簡便さから臨床の現場で使用されるようになってきました(その他、抗体検査は主に調査のために活用され、診断用には使用されていません)。こうした確定診断を行いつつ、重症度の評価も行い、これに応じた適切な治療を開始します。

治療は軽症であれば主に対症療法ですが、重症度に応じた薬物治療としてインフルエンザウイルス、エボラウイルス等の抗ウイルス薬や気管支喘息吸入薬、膠原病治療薬など既存薬から治療薬を見出す段階で、ワクチンを含めて、この疾患に特異的な薬剤の開発競争が世界的に展開されています。肺炎症状を伴う中等症では酸素療法も適宜追加され、重症例ではARDS(急性呼吸窮迫症候群)や敗血症、サイトカイン放出症候群や多臓器不全などを合併し集中治療室での治療がなされ、人工呼吸器や透析、

ECMO（体外式膜型人工肺：各種制限あり）が用いられることもあります。尚、海外では、回復期の患者さまから頂いた血漿を用いた治療法も注目を浴びています。

しかし、何よりの“特效薬”は言うまでもなく、**①物理的（身体的）な距離の確保（1m以上のPhysical distance）、②常時のマスクの着用（Universal maskingと必要時の眼の防護）、③手指衛生を遵守し、感染防止に努めることです。そして3密「密集、密接、密閉」を回避すること。治療ではなく、予防に注目して今後の生活を営むことにあります。**

今、私達に必要なことは、**正しい知識と予防、そして規則正しい生活**です。

■新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する豆知識

- ・SARS-CoV-2（ウイルスの正式名称）は遺伝子学的にコウモリ由来の可能性
- ・肺・心臓・腎臓・小腸・脳の細胞などに存在しているACE2受容体が入り口
- ・他の細菌やウイルスとの混合感染もある（各7%、3%）
- ・発症2日前から発症後10日目くらいまで他人に感染する
- ・ウイルスは血液・便などにも排出されるが、曝露による感染例の報告はない

【接触感染対策】

- ・プラスチック・ステンレス表面で2-3日、段ボール表面で1日、銅表面で4時間生存
- ・エンベロープを持つRNAウイルスであり、これを破壊する石鹼での手洗いは有効
- ・石鹼を用いた20秒以上の手洗いで8%程度に、水だけでも25%までウイルスを除去
- ・アルコール擦式製剤はエタノール62%以上のもので手指が乾燥するまで20秒以上擦り込む
- ・**手洗い・アルコール消毒ができていない手で不用意に自分の眼・鼻・口を触らない**

【飛沫感染対策】

- ・咳・くしゃみでウイルスを含む飛沫が飛散
- ・飛沫の大きさは約5 μ mと言われ、サージカルマスクで封じ込み・防御が可能
- ・エアロゾル（飛沫核）は5 μ m以下でサージカルマスクを通過、N95などの高性能マスク（レスピレーター）が必要
- ・エアロゾルは3時間以上飛散（実験室データ）、感染性はデータ蓄積中
- ・呼吸器症状がある患者さまから2m以内に入る際にはマスクを装着
- ・患者さまとの距離は常に1m以上あける（両者ともマスク装着が望ましい）
- ・マスクの取り外しは表面を触らずゴムのところで付け外し、触った場合には手洗い



【環境改善】

- ・換気の悪い密閉空間、人の多数集まる密集場所、間近での会話や発声する密接場面を回避

【家族に感染者（感染疑い者）がいる場合の対処】

- ①まずは感染者（疑いを含む）と部屋を分け、不要不急の外出を制限する
- ②感染者（疑いを含む）のお世話は健康な限られた方が行う（妊婦は不可）
- ③感染者（疑いを含む）も同居している方も両者接触時にはマスクをつける
- ④こまめに石鹼で手を洗う（アルコール擦式製剤も可能）
- ⑤部屋（共用領域も含む）の換気を適宜行う
- ⑥感染者（疑い例を含む）も触れる共用部分を適宜消毒する
- ⑦使ったティッシュ等のゴミは密閉して通常通り処理する
- ⑧食器の洗浄や、リネン・衣類の洗濯は通常通りに行う

（出典：WHO, CDC, 厚労省, 日本感染症学会, 各種ジャーナル（NEJM, JAMA, LANCET他）

研修医レポート

臨床研修医

伊高 里菜
いたが りな



こんにちは。研修医1年目の伊高里菜と申します。熊本大学医学部を卒業し、4月より熊本医療センターにて初期研修をさせていただき早3か月が経ちました。

私はまず消化器内科から研修をスタートし、この原稿を書いている現在は外科で研修しております。これまで学んできた大学病院とは違う病院ということで、病院自体に慣れるまで1か月ほどかかったように思います。それに加えカルテの使い方すらわからず、多くの方にご迷惑をおかけしましたが、指導医の先生をはじめとする先生方、病棟スタッフなどのコメディカルの方々がその都度丁寧に教えてくださり、大変ながらも楽しく研修させていただきました。

した。

消化器内科では採血、内視鏡、腹水穿刺、ERCP、PICCカテーテル挿入など多くの手技を経験させていただきました。特に腹部エコーは毎日多くの患者さまに検査することができ、非常に勉強になりました。また、患者さまのプレゼンテーション、回診、オーダー、文書作成などの病棟業務も数多く経験することができ、非常に有意義な研修となりました。

消化器内科での研修が5月で終了し現在は外科で研修をさせていただいております。縫合や結紮などの基本手技をはじめ、術後管理、合併症のフォローなど学生の頃にはなかなか深く学べなかったことを数多く経験させて頂いております。また、毎朝の術後カンファレンスや毎週火曜の術前カンファレンス、毎週木曜のビデオカンファレンスでは多くの症例を目にすることができ非常に勉強になります。

入職してまだ3か月ではありますが、忙しいながらも充実した毎日をご過ごすことができていると思います。まだまだ多くのご迷惑をおかけすることがあると思いますが、ご指導いただけたら嬉しいです。2年間宜しくお願いいたします。

臨床研修医

野津原 舞
のづはら まい



こんにちは。研修医1年目の野津原舞と申します。今年の3月に久留米大学医学部を卒業し、4月より熊本医療センターで初期研修をさせていただいています。6年間の大学生活を終え、社会人1年目として右も左も分からないまま、気がついたら研修が始まり3ヶ月が経とうとしています。初めて尽くしの毎日で戸惑うことも多いのですが、スタッフの皆様の温かさに支えられて充実した日々をご過ごすことができます。

私は4月に内分泌代謝内科から研修をスタートしました。最初は電子カルテの使い方やオーダーの方法など病院の体系的な面を覚えることで精一杯になっていましたが、徐々に慣れてきて診療の事も考えられるようになりました。

した。糖尿病・内分泌内科では主に糖尿病の患者さまの診療の実際を経験することができました。まず入院時の患者さまの状態を把握し、合併症の評価法をはじめとし、患者さまとの関わり方を学びました。薬物療法も大切ですが、患者さまの現在の生活習慣、食習慣を改善させることが基本の治療だと考えます。そのためには患者さまとコミュニケーションをしっかりととり、問題点をしっかりと把握することが大切だと思いました。

次に回らせて頂いてる外科では、手術や周術期管理、検査、診断、治療の流れを学びました。手術では間近に手技を見て、私自身もチームの一員として参加することができました。特に緊急手術では、救急外来でこの疾患ではないかとされて、実際にどうなっているのかが目に見えて、こういう風になっていたのかと学ぶ事ができました。

最後になりますが、研修医生活の始まりから3ヶ月が過ぎ、まだまだ分からない事ばかりです。毎日新しいことを身につけながら、医師として一歩ずつ進歩できたらと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

2020
9月

研修日程表

研修日程表への問い合わせはこちら
 国立病院機構熊本医療センター
 地域医療研修センター（096）353-3515（直通）

研修センター
 QRコード▶



※二の丸モーニングセミナーにつきまして、詳細はホームページ（<https://kumamoto.hosp.go.jp>）をご参照ください。

9月	研修センターホール	研 修 室
1日（火）		
2日（水）		
3日（木）	8：15～8：45 二の丸モーニングセミナー	
4日（金）		
5日（土）		
6日（日）		
7日（月）		
8日（火）		
9日（水）	17：30～18：30 第124回 国立病院機構熊本医療センタークリティカルバス研究会	
10日（木）	8：15～8：45 二の丸モーニングセミナー	
11日（金）		
12日（土）		
13日（日）		
14日（月）		19：00～20：00 第259回 月曜会（内科症例検討会）（研修室2） [日本医師会生涯教育講座1.0単位認定] 症例1……血液内科 症例2……循環器内科
15日（火）		
16日（水）		
17日（木）	8：15～8：45 二の丸モーニングセミナー	
18日（金）		
19日（土）		
20日（日）		
21日（月）		
22日（火）		
23日（水）		
24日（木）	8：15～8：45 二の丸モーニングセミナー	
25日（金）		
26日（土）		
27日（日）		
28日（月）		
29日（火）		19：00～21：00 小児科火曜会（研修室1）
30日（水）		

※新型コロナウイルスの影響で予定が変更になる場合がございます。
 最新の情報につきましては、ホームページでご確認をお願い致します。

患者さまについてのご相談は地域医療連携室直通電話をご利用ください。

地域医療連携室直通電話 **096-353-6693**

直通 FAX 096-323-7601

受付 平日 8：30～17：00

熊本医療センター
 地域医療連携室副室長

とみたか えつし
 富高 悦司



患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565
096-353-6566

FAX
096-353-6563



国立病院機構
熊本医療センター
地域医療連携室室長
菊川 浩明

令和2年9月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 吉村 文孝 國友 耕太郎
	血液	河北 敏郎 平野 太一	原田 奈穂子 三井 土和	榮 達智 井上 佳子	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃
	糖尿病・内分泌	西川 武志(午前新患) 小野 恵子(午前再診)	小野 恵子(午前新患) 西川 武志(午前再診)	西川 武志(午前新患) 橋本 章子(午前再診)	木下 博之(午前新患) 小林 由佳(午前再診)	橋本 章子(午前新患) 木下 博之(午前再診)
	呼吸器センター	(午前のみ) 名村 亮	(午前のみ) 小野 宏 熊大医師(院内コンサルト)	(午前のみ) 小野 宏 (午前紹介のみ)原 英記	(午前のみ) 名村 亮	(午前のみ) 小野 宏 熊大医師(院内コンサルト)
	感染症内科		(午前のみ)小野 宏	(午前のみ)小野 宏		(午前のみ)小野 宏
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	伊達 亮佑 (富田 正郎)	中村 朋文	松永英士	富田 正郎
	腫瘍内科	境 健爾 三井 土和	境 健爾 榮 達智	境 健爾 磯部 博隆	境 健爾 三井 土和	境 健爾 榮 達智
消化器病センター (消化器内科)	診 察	石井 将太郎 松山 太一 上野 茂紀	杉 和洋 中田 成紀 東 哲生	杉 和洋 石井 将太郎 志茂田 美紀	杉 和洋 松山 太一 東 哲生	上野 茂紀 中田 成紀 馬見塚 大悟
	内視鏡	午前 中田 志茂田(東)	松山 馬見塚	松山 上野	中田 馬見塚 志茂田	石井 東(志茂田)
	午後	東 志茂田 馬見塚(中田)	石井 松山 志茂田 馬見塚	中田 東 上野(松山)	中田 上野 馬見塚(石井)	石井 松山 志茂田
腹部超音波	杉 東 馬見塚	石井 上野 志茂田	中田 東 馬見塚	石井 上野(志茂田)	杉 松山 志茂田	
心臓血管センター (循環器内科)	診 察	藤本 和輝 白尾 友宏 日下 裕章(新患)	田山 信至 大塚 康弘(隔週新患) 野津原 淳(隔週新患)	日下 裕章 松原 純一(新患)	大塚 康弘 野津原 淳 藤本 和輝(新患)	松原 純一 田山 信至(新患)
	(心臓血管外科)	手術日	岡本 実	岡本 実 田中 睦郎	手術日	岡本 実
精神・神経科	初めの方	山下 建昭	神野 哲平	担当医	大潮 一太	山下 建昭
	2回目からの方	担当医	山下 建昭		山下 建昭	橋本 聡
小児科	診察	水上 智之 永芳 真理子	岡田 拓巳	水上 智之 岡田 拓巳	水上 智之	岡田 拓巳 永芳 真理子
	免疫	水上 智之		水上 智之		
	アレルギー		緒方 美佳		緒方 美佳 平井 奈美	平井 奈美
外科		小澄 敬祐	水元 孝郎 井上 光弘	美馬 浩介	宮成 信友 井上 光弘	久保田 竜生
脳神経センター (脳神経外科)		大塚 忠弘 中川 隆志	手術日	大塚 忠弘 武末 吉広	中川 隆志	大塚 忠弘 宮崎 愛里
	(脳神経内科)	幸崎 弥之助	小阪 崇幸	天野 朋子 津田 幸元	幸崎 弥之助 小阪 崇幸	天野 朋子 津田 幸元
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 平井 泰博	手術日	福元 哲也 前田 智 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦
	午後	福元 哲也 福田 和昭 平井 泰博		前田 智 満瀬 葉介		中馬 東彦 宮崎 誠大
泌尿器科		前田 喜寛 鮫島 智洋	菊川 浩明 矢野 大輔 近浦 慶太	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 銘刈 晋吾 山中 達郎	菊川 浩明 矢野 大輔
産婦人科		高木 みか	西村 弘 山本 文子	山本 文子	高木 みか 山本 直	西村 弘 山本 直
感覚器センター (眼科)		榮木 大輔 木山 優 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 木山 優 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 木山 優 中西 美穂
感覚器センター (耳鼻咽喉科)		手術日	上村 尚樹 竹本 梨紗	手術日	担当医	上村 尚樹 竹本 梨紗
感覚器センター (皮膚科)	初診(紹介あり)	城野 剛充	牧野 公治	小林 温子	西 葉月	島田 秀一
	再診 (初診 無紹介)	城野 剛充 小林 温子	西 葉月 牧野 公治	島田 秀一 小林 温子	城野 剛充 西 葉月	牧野 公治 島田 秀一
形成外科		(午後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 前山 徹	(午後) 担当医 (紹介のみ)	手術日	(午後) 大島 秀男 東野 哲志 (自費診療) 前山 徹	(午後) 大島 秀男 東野 哲志 前山 徹
放射線科	治療(予約制)	富高 悦司、松本 忠士				
	画像診断	吉松 俊治、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、根岸 孝典、柏木 寧、幸村 紘子				
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察/麻酔相談)		(午前のみ) 田中 健一 (麻酔相談)		(午前のみ) 森永 真矢 (麻酔相談)	
緩和ケア外来	磯部 博隆	榮 達智	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆	
歯科 口腔外科		中島 健、谷口 広祐、早川 真奈、中尾 美文			中川 文雄	中川 文雄
救命救急センター		原田 正公、北田 真己、櫻井 聖大、渋沢 崇行、清水 千華子 山田 周、橋本 聡、深水 浩之、松尾 悠史				宮内 大介
		國友 耕太郎		木村 文彦		
看護外来	ストーマ		認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師
	がん看護	専門看護師(午前)	専門看護師	専門看護師	専門看護師	専門看護師
薬剤師外来	移植後フォローアップ	専門看護師 他		専門看護師 他	専門看護師 他	
	がん化学療法	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師

(注)担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。 R2/9/1